



アクマに
乳首を
調教されて



今の環境
親との関係性
自分の将来のビジョン…



ろくでも無さ過ぎて
何かに憑かれてるんじゃないかって考えた事も
あったけどさ…

まさか本当に
悪魔なんてものに
憑かれるなんてね…





おおく
いいね
いいね
え



そして
「昔めがい」のありそうな
ツンツンとしたおっほい……



世の中に
不満タラタラくって感じの
突っ張った生意気そうな顔♪



次のミルクサーバーは
あの子で決まりね！



フフフ…
決めたわ

人
ジ



ヒック!
家に帰らないとお?
つれねえなあ嬢ちゃん

あ…

今夜だけでいいから
俺に付き合ってくれよお?



ヒック…!
俺今日さあ
ム力つくことがあって
酒飲んでも全然
スッキリしなくてさあ

なあ一発
やらせてくれよお?
お小遣いだって
あげちゃうからさあ



行きたくないい〜？
ヒック…ッ！
じゃあしようがねえなあ



いやっ！
そんな所
行きたくない！

近くに良い
ホテルあるからさ！
そこ行こうよ！



いやっ！
だ…誰か助け…っ！



ひびく

モミ

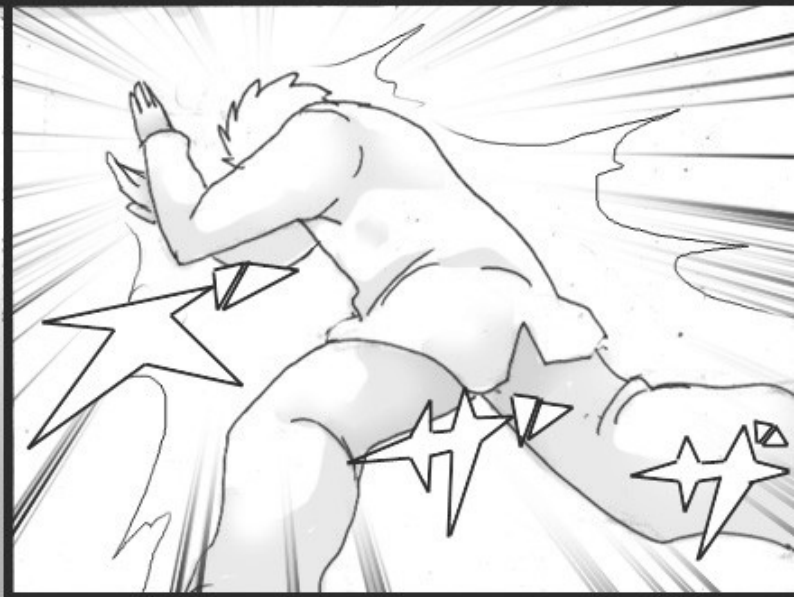
「ココ」で
ヤっちゃおっかなあ



んだコラッ！
今取り込み中…



ちん
ちゃん





チツ!また
つまんねえ真似
しちゃったな...



アタシは
浅木 貴璃 (アサギ キリ)



一晩中街の中をぶらついたり
こういうビルの屋上とかに
無断で入ってくつろいだり...
世間一般でいう「不良娘」ってやつだ

親はいるけど
その親との関係が最悪で
朝帰りしたって
「何も言われやしない」



父はアタシが産まれてすぐ蒸発
母は幼いアタシに
DVみたいなマネはしなかったけど
アタシを疎ましく思っていた

!



男だあ?
アイツめ...



さらに母が
新しい男と再婚して
その男の子供を産んでからは
アタシに完全に無関心になって

在学中は最低限の
生活費用は払ってやるけど
学校を卒業したら
家から出て行ってくれという
空気をアタシに投げかけていた





それじゃあ一晩中
私の相手になって
もらおうかしら？



ハア…どうすつかなあ
今日は家に
帰る気分じゃねーし







こんな夜中に
人気のない場所に一人で
居るなんて…

他の人間に邪魔されても
つまらないから
何処かに「攫おう」と
思ってたけど

手間が省けて
助かるわ♪





な…あっ!?
なんだ…
テメエ…は!?

羽で…!?
空から降りてきた!?

フフ…やっぱり
いいわねえその表情…
私の加虐心を刺激するわ

なんだ…
何が起こってるんだ!?



後はお前の身体が
「ミルクサーバー」として
適してるかどうか…



!?

おっぱいを
直に弄らせてもらっわ



なっ!

ブルン





な…なんなんだよ
この状況!?

いきなり空から
降ってきたガキに
服肌蹴らされて
乳首を…っ!

クスツツ
調教しがいがある
ありそう♪



まるで岩みたい
にビクともしない…!!
抵抗できない…っ!!



突き飛ばしたくても
ア・シ・アタシの身体に
纏わりついて締め上げて
意味解らないこの黒いの

あ



フフ…ビックリした？
人間が私に触れられ続けると
触れていた部分の感度が
どんどん敏感になっていくのよ

な、何ッ!?

な、何ッ!?



唾液なんかを
絡めれば…



その効果は
さらに速く大き
くなっていく

ひきッ!

クッ!



単に
触れてるだけ

うっ



…でもこんなのは
私にとっては
なんでもない

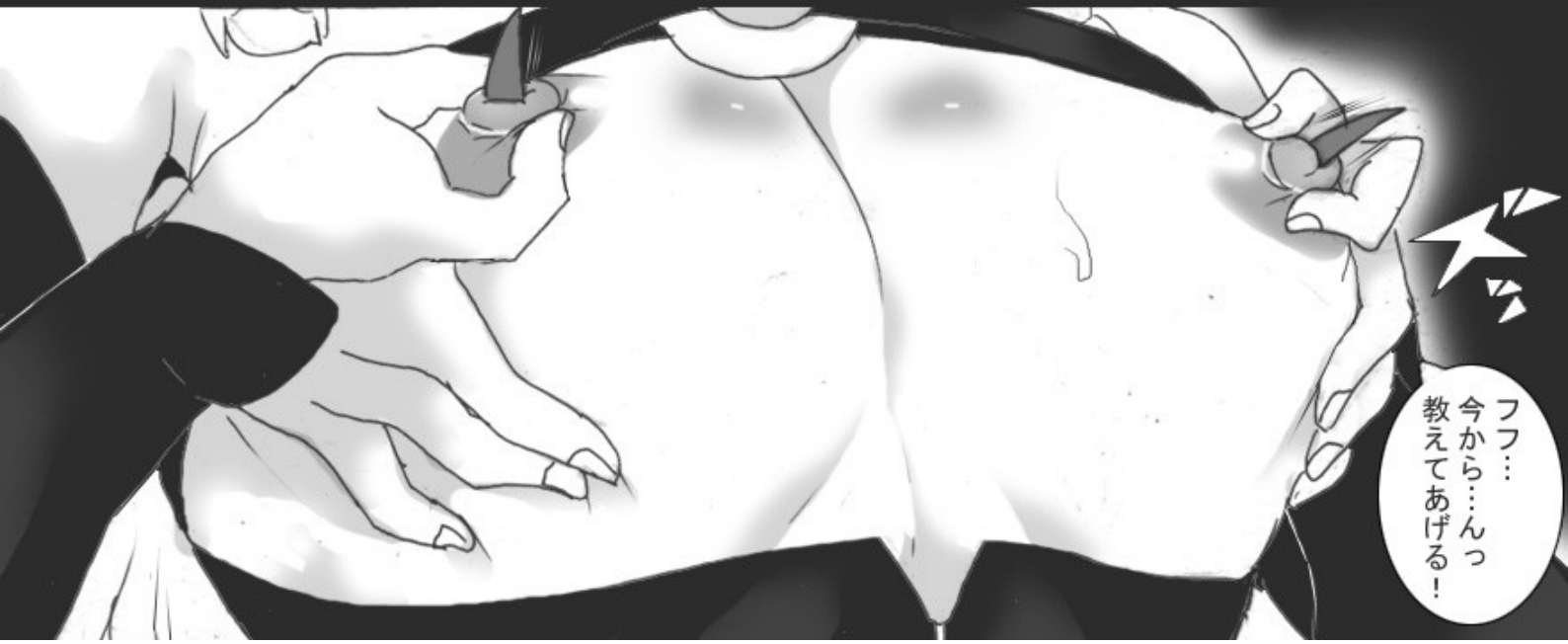
あ



私がその気で責めるなら
今の何倍もの快感責めで
アナタの身体を
嬲りものにするわ



!?



フフ…
今から…んっ
教えてあげる！

…ロリっぴな



んっ!!

この触手は
私の性器の「一」



ひっ!!
何っ!!

うわっ!?

これでアナタの乳首を
スポズボ犯して
私用のミルクサーバーに
造り替える

私の名前は
「魔廻」(マノ)
覚えておきなさい

ぐっ!
うう!

なっ...!?

今から私が
アナタの身体の
「所有者」に
なるんだからね♪



クッ

クッ

悪…!!
ひっ!!



そうよ
「悪魔」である
私のモノになるの

しよ…
所有者!?



ギッ

ち…乳首を!?

ちよ…ちよっと待て!
ち…乳首を犯すって
まさかソレを…!?

クッ



ズブ

ズブ
ズブ
ズブ

大丈夫♪
痛いのは
最初だから



ツク

やめっ



クスッ♪
ビクビクしちゃって
可愛い♪



すぐに痛覚は快感に変わるわ!



こうやって「内側」を少し擦りあげれば...



私の性器にはただ触れるより数十倍の催淫効果があるから

乳首に空いた「穴」は
強烈な性感帯に変わり

あ

あ

あ

コッ

コッ

コッ

二つの敏感マンコが
おっぱいに
できるってワケ♪

おん

おん

この乳首マンコ
コリコリした乳首と
その先にある柔らかい乳肉が
いい感じにアクセントになって
私も突いててとっても
気持ちいいのよ♪

あ
あ
あ



あうっ……！
にゅ……乳せっ!?

もうすぐ
アナタのおっぱいは
私用のミルクサーバーに
なるのよ♪



そして今
アナタのおっぱいの奥で
コリコリ弄ってる部分が
乳腺



私好みの
「味」のね♪

ぐっ!?

あぐっ!



おっぱいの奥が
熱くなってきたでしょ？
私の触手で刺激されてる
乳腺が急激に発達して
母乳を生成してるのよ



まだこの世界の…
人間臭さが強い



ふう…
流石に味は
まだまだだね



これじゃあ
私の世界に連れて行っても
すぐ死んでしまう…

でも私の…つまり
悪魔の烙印が
体に刻まれた人間は
もうその悪魔から
逃れる事は出来ない

まぶ



あなたの身体が
完全に私のモノに染まるまで
こっちの世界で
じっくり調教してあげるわ♪

あま

